

# セーフコミュニティ かめおか



## けがや事故を予防しよう

Vol.25 平成 29 年 6 月号

### セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、予防に重点を置き、地域社会全体が協働で進める安全安心なまちづくりの取り組みです。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺対策、高齢者の安全、交通安全、防犯対策、スポーツの安全、乳幼児の安全の6つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全・安心なまちづくりを進めています。

### 乳幼児の事故防止に向けた啓発パンフレットを作成しました

身近なことから取り組む事故防止対策

セーフコミュニティかめおか乳幼児の安全対策委員会では、家庭での乳幼児の事故・ケガ防止を啓発するため、亀岡市内で起こっている事故のデータに基づき、啓発パンフレットを作成しました。

市内の乳幼児の事故・ケガは、転倒・転落、誤飲、ぶつかることが原因で多く起こっており、それぞれの対策について掲載しています。また、溺れる、やけどなどによる事故・ケガは重傷化する可能性が高いことから併せて注意を促すよう盛り込んでいます。

パンフレットのデザインは京都女子大学に協力いただきました。子どもの顔をイメージして丸い形とし、誤飲の注意を促すため子どもの口の大きさに穴の開けたデザインになっています。

保健センターで実施される乳幼児の4か月健診で既に配布を始めており、今後は地域で行われる子育てサロン等でも配布する予定です。



### スポーツ研修会を開催

選手の能力を引き出すトレーニングの考え方とケガ予防について



6月2日、亀岡市役所市民ホールで「セーフコミュニティかめおかスポーツ研修会」を開催しました。

講師には、京都学園大学教育開発センターの三浦重則先生<sup>みうらしげのり</sup>をお招きし、パワーリフティングの指導を通じて得た経験から選手の能力を引き出す考え方やケガ予防について講演いただきました。

生涯に渡ってスポーツを楽しむために、ケガを予防することの大切さや、勝つことよりも選手の人間性の向上を目指す指導が大切だとの話に参加者も聴き入っていました。

### 亀岡市セーフコミュニティ推進協議会を開催

より充実した組織で亀岡の安全安心を推進していきます

5月24日、亀岡市役所市民ホールで亀岡市セーフコミュニティ推進協議会を開催しました。

今年度から新たにPTA、亀岡防犯協会、亀岡市暴力追放協議会、亀岡市消防団の代表の方に参画いただき、計38名の委員による協議会となりました。

会議では、平成28年度の実績報告を行うとともに、再々認証に向けてさらに充実した取組にするための方策などについて議論されました。



### ～交通安全・防犯に関する2つのプロジェクトを御紹介～

亀岡市では、現在2つのプロジェクトを進めており、今後は市民の皆さんにご協力いただけるよう7月中下旬頃から募集を行っていく予定です。

#### セーフティドライブプロジェクト

法定速度や交通ルールを守り、安全走行(セーフティドライブ)に努めるドライバーを募集します。登録時にお渡しするマグネットを車の後部に貼って市内を走行することで、交通安全の緩やかなネットワークを広げる取り組みです。

#### まち・レコプロジェクト

車にドライブレコーダーを設置している方に登録いただいて、登録時にお渡しするマグネットを車の後部に貼って市内を走行することで、みんなでまちの見守りをしようという取り組みです。

# インターナショナルセーフスクール

安全で安心な学校・保育所・保育園づくり

## セーフスクールとは

体と心のケガやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル・セーフスクール(ISS)です。

亀岡市立曾我部小学校、社会福祉法人<sup>ほうじょうかい</sup>倣裏会亀岡あゆみ保育園、亀岡市立保育所8カ所(本梅、東本梅、川東、中部、東部、第六、別院、保津)がISS認証を取得し、現在も取り組みを進めています。

## ISS再認証に向けて、動き出しました！

ISS合同説明会を開催

ISS認証は3年に1回審査を受ける必要があり、平成30年が再認証の年となっています。今までのあゆみを確認し、改めて再認証に向けて進むため、10の学校・保育所(園)を対象としたISS合同説明会を開催しました。

合同説明会では日本セーフコミュニティ推進機構の白石代表理事が、再認証にあたって必要なポイントを解説した後、各グループに分かれた担当の先生方は、ISSの活動成果や今後の課題などについて意見交換を行いました。

今後も各学校・保育所(園)が一丸となって、ISS再認証に向けて安全・安心な学校・保育所(園)づくりに頑張っていきます。



## ISS交流が4年目になりました

曾我部小学校と中部保育所の合同交通教室

曾我部小学校と中部保育所は、ISSの取り組みが始まってから合同交通教室とISS交流会を継続して実施しています。

今年度も曾我部小学校で中部保育所との合同交通教室が開催されました。園児と1年生は道の歩き方、2年生と3年生は自転車の運転について学びました。

昨年度まで中部保育所に通園していた児童も今は1年生として園児と手をつないで道を横断するなど、年を越えたISSの交流が実現しています。



## いのちの大切さを学ぼう

ひまわりの絆プロジェクトを市立保育所で展開

「ひまわりの絆プロジェクト」とは、交通事故で亡くなった男の子が育てていたひまわりを、京都府警が交通事故防止のシンボルとして広めている活動です。

亀岡市立保育所は、交通事故の防止といのちの大切さを伝えるため、このプロジェクトに参加しています。

今年度は、亀岡市立保育所の代表として、保津保育所が亀岡警察署を訪れ、警察署の玄関横にひまわりの種を撒きました。各保育所でもひまわりの種を撒いています。

夏に立派に育ったひまわりを見かけたときには、ぜひ交通安全について想いをめぐらせてください。



## 家の中のヒヤリハットを伝えます

保津保育所の保護者会ISS啓発劇

6月3日に保津保育所で行われた保護者会研修の中で、保護者会役員の皆さんが家庭内のヒヤリハットを伝える啓発劇を実施しました。ISSの取り組みが始まって以降、毎年恒例となっています。

角にぶつかったり、熱いポットに触れたり、小さいものを飲み込んでしまいそうになることなどの危険性を分かりやすく劇にして伝え、子どもたちや他の保護者の皆さんも楽しく観劇していました。

それに合わせて、セーフコミュニティ乳幼児の安全対策委員会で作成した啓発パンフレットも配布されました。



## ドナルドと学ぶ交通安全・防犯対策

マクドナルドとの連携

昨年度に引き続き、マクドナルドとの連携で亀岡市立保育所でドナルドの交通安全・防犯教室が開催されることになりました。

6月6日に川東保育所で今年度第1回目の教室が開催されました。全園児が参加し、ドナルドの交通安全の質問に大きな声で回答するなど、盛り上がりを見せていました。

